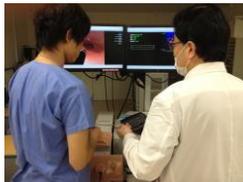


## 【お知らせ】



### 『Accu Touch』 H23年度に新たに導入した 上部消化管出血モジュール、 気管支モジュールの利用開始』

ログインの方法が以前と異なりますので、利用希望者へは別途、新モジュール使用方法の説明を行います。お問い合わせは医療教育統合開発センター(内線:6597)まで。



### 『外科ブートキャンプでの 縫合練習キットの活用』

外科クリニカル クラークでは、定期的に基本手技講習会(外科ブートキャンプ:外科BC)を開催しています。講習内容は、①縫合結紮基本手技、②低侵襲外科治療基本手技、③直腸診のコツと落とし穴です。外科BCでは各種シミュレーターを用いたトレーニングにより外科実習に必要な知識と技術をより一体的に理解することを目標にしています。(地域医療人材育成講座 伊野英男先生)



### 『平成24年度岡山大学医学部教員 FD ワークショップ(海の日FD)を開催します』

医療教育統合開発センター、医学部医学科教務委員会、医歯薬学総合研究科学務委員会(医学系)の主催による「海の日FD」を7月21日(土)9:00~18:00 岡山大学創立五十周年記念館にて開催します。各専攻分野から1名以上のご参加をお願いいたします。(新任教授、新任准教授、新任講師、新任助教、新規教育企画委員、大学院学務企画委員がいる場合はその教員、そうでない場合は平成23年度海の日FDに参加されていない方。参加を希望する方。)また学生、研修医の参加もお待ちしております。今年度のテーマは「岡山大学の望ましいシミュレーション教育について」です。

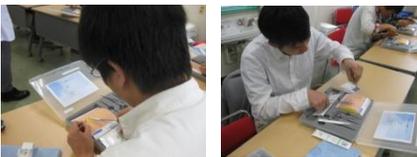
## 【シミュレーターを用いた早期体験実習の様子】

### < 心肺蘇生実習 > 「その手で救え！救急医療体験」



救急医学の山内英雄先生、医学教育部門の芝直基先生を中心にハートシムACLSトレーニングシステムを用いてBLSの体験実習を行っています。

### < 外科医体験実習 > 「ブラックジャック体験入門編」



地域医療人材育成講座の伊野英男先生が縫合練習キットを使用して縫合結紮の体験実習を行っています。

### < 医歯連携医療の現場 > 「歯って得する歯科医療」



歯学教育部門の吉田登志子先生が、シンプルマネキンⅡセット及び口腔内診察モデルシミュレーターの説明を行っています。

### < 老人体験実習 > (医学科) 「君は加齢を華麗に乗り切ることができるか?」



総入りハビリテーション部の堅山佳美先生の指導の下、老人体験キットを使った実習が行われました。学生さんはキットを装着して院内を回り、動き辛さを体験しています。

### < 老人体験実習 > (薬学部) 「朝飲む薬はどれじゃったかのー?」

薬学部薬学科1年生、早期体験学習に不自由体験キットを用いた演習を行いました。老人の独特の動きにくさ、視野の狭さを体験しました。薬剤の鑑別も非常に難しく、誤った服用の可能性とリスクを考える良い機会となりました。(薬学教育部門 須野学先生)



## 【ご報告】



### 『薬学部学生実習「SimMan3G」利用』(平成24年2月21日)



地域医療学講座 市場先生、医療教育統合開発センター 名倉先生の指導の下、「SimMan3G」を利用した薬学部の学生実習を行いました。シヨック状態の患者モードに設定したシミュレーターへ必要な薬剤選択と投与を実施。薬剤投与前後の患者状態の診察や処置、気管挿管の体験など、急変状態から患者のバイタルを安定させるまでの一連の演習を行いました。

### 『耳鼻咽喉科シミュレーション研究会にて 側頭骨モデルと鼻副鼻腔モデル利用』 (平成24年2月25日)

第1回耳鼻咽喉科シミュレーション研究会が平成24年2月25日に岡山大学病院と関連病院の計10名の医師が参加して、岡山大学耳鼻咽喉・頭頸部外科で開催されました。2名の実習者が指導者の下、実際に手術で使用する機器で側頭骨モデルと鼻副鼻腔モデルを削開しました。今後は看護師や言語聴覚士などコメディカルの参加も予定しています。(耳鼻咽喉科 西崎和則先生)



# 【ご報告】



『最近の若手医師のキャリア形成 ～大学病院と市中病院の連携と役割 オール北海道で高度医療人の育成を～』 (平成24年2月27日)



北海道大学と札幌医科大学、旭川医科大学、東京慈恵会医科大学、弘前大学の連携事業「自立した専門医を育むワンオール北海道プラス1」の第5回シンポジウムに医学教育部門 野間和広先生が参加しました。

『OSCEに採血・点滴シミュレーター' Adam Rouilly ' を使用しました』 (平成24年3月3日)

岡山大学病院で、教務委員会と医療教育統合開発センター共催による医学科4年生を対象とした『平成23年度医学科OSCE』を実施しました。外科のステーションで採血・点滴シミュレーター' Adam Rouilly ' を利用して頂きました。

『医学科6年生の選択実習に成人シミュレーター' SimMan3G ' の利用開始』 (平成24年3月6日)

医学科6年生の選択実習で成人シミュレーター' SimMan3G ' を用いたシミュレーショントレーニングを開始しました。今回は岡山済生会病院研修医 松田先生、岡山大学病院研修医 山本先生にもご参加いただき、複数の症例シナリオを用いた活発な実践トレーニングとなりました。指導は、医療教育統合開発センター 三好先生、総合内科 小川先生、香川県立中央病院 万代先生です。



『岡山大学病院卒後臨床研修指導医養成講習会』 (平成24年3月10日)

3月10日(土)にピュアリティまきびで行われた岡山大学病院卒後臨床研修指導医養成講習会にて、医療教育統合開発センターの三好智子先生が、成人シミュレーター' SimMan3G ' を利用してシミュレーション教育のミニレクチャーを行いました。' SimMan3G ' 導入以来初の学外でのシミュレーションデモで、限られた時間でしたが非常に好評でした。



『エマルゴシニアインストラクターコース参加報告会』 (平成24年3月30日)



3月23日から25日の日程で富山で行われた エマルゴシニアインストラクターコースの報告会がありました。今後、救急専門医をめざす先生方にワークショップを開催予定です。

『研修医オリエンテーションでのシミュレーターの活用』 (平成24年4月5日、10日)



平成24年度研修医オリエンテーションにてシミュレーターを活用しました。安全装置付き静脈留置針と感染予防の講義で、IVトレーニングゲームを使用している様子と、外科実習で縫合練習キットを使用している様子です。

『ハートシムの活用』 (平成24年4月12日)



新規採用の研修医向けのICLSコースを救急科、卒研センター合同で開催しました。今回参加できなかった先生方を対象に、次回は6月に開催予定です。

『ハワイ大学医学教育研修報告会』 (平成24年5月18日)

医療教育統合開発センターのセンター教員会議にて医学教育部門 三好智子先生からハワイ大学での研修の報告がありました。昨年度約2ヶ月ハワイ大学で研修を受けられており、スライドからは、ハワイ大学での様々な医学教育についてうかがうことができました。



『シンプルマネキンの使用』

歯科では定期的に研修歯科医の先生方にシミュレーターを利用いただいています。



【教員異動のご報告】  
薬学教育部門  
名倉 弘哲 先生 (救急薬学分野へ) → 須野 学 先生

【 ハワイ大学シミュレーション研修に参加しました！ 】 (平成24年2月23、24日)



ハワイ大学メディカルスクール、SimTiki Simulation Centerで行われたシミュレーション研修へ参加しました。2日間の日程で、医療教育統合開発センター、地域医療人材育成講座、岡山大学病院看護部、NPO岡山医師支援機構等から派遣された計17名が参加しました。医師、研修医、看護師、歯科医師、薬剤師、学生、シミュレーション教育に携わる事務職員と、参加者の職種は様々でしたが、教育を受けるだけでなく、教育方法を学んでそのフィードバックを医療現場や教育の場で生かしていくという共通の目的意識をもって参加しました。医療教育統合開発センターからは、麻酔科 谷真規子先生、救急医学教室 山内英雄先生、顎口腔再建外科学 松村達志先生、看護部 瀬浪典子さん、香川県立中央病院 万代康弘先生、医療教育統合開発センター 工藤の計6名が派遣されました。



プログラム概略  
【1日目】  
医療教育におけるシミュレーション(講義) シミュレーションラボ紹介(演習) エアウェイマネジメント(講義/演習) ナイトオンコール時の対応(演習) ファカルティセミナー(討論)

【2日目】  
入院患者の安全対策(演習) 不安定な患者への対応(演習) 緊急時を想定したチームトレーニング(演習) ポストサーベイ/ファカルティセミナー(討論)



お問合せ：医療教育統合開発センター (管理棟5階)

内線：6597 <http://www.okayama-u.ac.jp/user/cdmhe/>